



衣笠地運協 かわらばん

平成 29年 6月 30日
第 8号

発行 衣笠地域運営協議会
事務局 衣笠行政センター
☎ 046-853-1611

活動 報告

平成28年度の主な活動の報告

衣笠山公園サクラ樹勢回復部会の事業

地域の観光資源である衣笠山の桜を守り、育てるための活動を実施しています。

- ◎種団子の花が咲く！花サク(柵)大作戦(10月)
桜の根を守る「花の柵」を、衣笠小学校6年生と一緒に作りました。種をまぶして撒いた泥団子が、春にはタマ公像の周りを彩ってくれました。



- ◎EM菌散布により土壌改良の取り組み
- ◎樹勢の衰えているサクラや、日照を遮っている木の伐採などを公園管理者に提案
- ◎成長不良により伐採をしたサクラに代わりソメイヨシノの若木1本を植樹

防災専門部会の事業



衣笠地区の全町内会、自治会を対象に平成27年度に行った地域防災に関するアンケート結果をもとに、地域防災の現状の課題・問題を把握し、主要課題の対応策についての提言を冊子にまとめました。地域の防災力向上に役立たせたいと思います。

町内単位の助け合い組織の活動支援



城山自治会に立ち上げた助け合い組織「チョボラしるやま」の活動支援を行ってきました。ボランティアの輪も広がりを見せています。

商店街活性化事業

TKM (楽しく衣笠を盛り上げる) プロジェクト ** 2月 **

衣笠小学校の6年生が、衣笠地域運営協議会、衣笠商店街と連携、連動して商店街活性化にチャレンジしました。



- 『衣小 TKM ストア』をオープン！
(空き店舗対策で設けられたイベントスクエア内に開設)
小学生が考案したデザインを「マルト陶器」様の協力で商品化した手ぬぐいや、忠犬タマ公が衣笠山を登っていく様子をイメージに地元の和菓子店「いづみや」様とコラボして完成した和菓子、衣笠商店街キャラクターをモチーフにした巾着袋などの子どもたち手づくりのオリジナルグッズを販売しました。
- 商店街の魅力発信冊子『あなたに Show! 店街』を作成！
取材から原稿まで小学生が全力で取り組んだ冊子『あなたに Show! 店街』(写真左)を作成し、TKM ストア店頭で配布したほか、地元町内会・自治会に配布しました。



上から、手ぬぐい、和菓子、巾着袋



衣笠十字路地下道の壁面装飾事業

衣笠十字路地下道の環境改善を図るため、大型作品の展示や、アロマ精油を活用した臭い対策となる消臭ディフューザーの設置を継続実施しています。



春光学園児童の作品

三浦学苑高等学校美術部の作品

衣笠小学校6年生の作品

後援・協力事業

取り組みに賛同し、広報活動などの支援を実施しました。

- ・衣笠商店街 夕涼み会 (7月)
- ・ハイスクールミュージカル公演 (8月)
- ・ラジオ体操ワンポイントレッスン (11月・公郷小学校で実施)
- ・衣笠いもん旨いもんフェスティバル (1月)
- ・未病を改善する栄養サポートセンター (12月～1月・衣笠仲通り商店街で開設)

平成 29 年度の事業計画



◎ 観光・商店街活性化に資する事業

- ① 衣笠山公園サクラ樹勢回復活動【継続】
- ② 衣笠十字路地下道環境美化事業【新規一部継続】
公衆電話跡地に設置予定の掲示板を活用した事業
- ③ 地域観光資源 PR 事業【新規】
忠犬タマ公像や、三浦一党など観光資源を PR し、にぎわいのあるまちづくりを目指す。

◎ 高齢者を中心とした福祉に関する事業 町内単位の助け合い組織の活動【継続】

◎ 地域防災の向上に関する事業 防災専門部会の活動【継続】

衣笠地運協の 3 つの役割・ 3 本の柱

【3つの役割】

衣笠地運協には、3つの役割があります。

- ① 各地域活動団体の連携、ネットワーク化を図ります。
- ② 身近な課題の解決や暮らしやすく魅力あるまちづくりのための企画等を立案し、具体的な取組みを行います。
- ③ 地域の特性や実情に合ったまちづくりの実現に向けて、地域だけでは解決できない課題の対応策や地域に関わる市の施策に提案等を行います。

【3本の柱】

衣笠地運協の事業は、3本の柱があります。

- 柱1 観光・商店街活性化に資する事業
- 柱2 高齢者を中心とした福祉に関する事業
- 柱3 地域防災の向上に関する事業



衣笠スカリン

本紙のご案内

地域住民が主体的に取り組むための組織として設立された衣笠地域運営協議会（略称：衣笠地運協）の活動内容について地元のみなさまにご紹介するための広報紙です。

衣笠地運協

